

0560 | 造形基礎 I

2 単位（通信授業 2 単位）

三浦明範教授、重政啓治教授、永井研治教授、長沢秀之教授、赤塚祐二教授、樺山祐和教授、阿部英幸講師、伊藤仁講師、今井庸介講師、大家泰仁講師、加藤健二講師、木村繁之講師、木村真由美講師、小森琢己講師、清水健太郎講師、神彌佐子講師、瀬島匠講師、東俊行講師、星晃講師、山本明比古講師、吉川民仁講師、渡邊洋講師、和田雄一講師

授業の概要と目標

美術の表現の基底には、常に私達の現実の身体がある。私達の手と身体はそこから様々な表現が紡ぎ出される源である。ここでは手と身体を使ったドローイングを行うことにより、そこから湧き出る多様な表現と身体の間わりを理解し認識を深める。通信授業では、線を引くことから始め、描くこと、イメージトレーニング、コンセプト・ドローイング、偶発的効果によるドローイング等の実践を通じて、造形の基礎を再認識する。

課題の概要

○通信授業課題

- 1-1 自分の身体より大きな模造紙にドローイングする。
- 1-2 1 枚の模造紙にドローイングした後、紙面上より気に入った部分（B3 サイズ）を切り取る。
また、その部分を切り取った理由を 200 ～ 400 字で解説する。
- 1-3 音楽を聴きながら帯状の長い紙にドローイングする。
- 1-4 かつて自分が訪れた場所（自然界や街）の記憶や印象をもとにしたイメージをドローイングする。
また、その記憶や印象の内容を 200 ～ 400 字で解説する。
- 1-5 デカルコマニーをもとに、ドローイングを加え発展させる。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『造形基礎 I～IV 平成 29 年度』の「造形基礎 I」を参照。
教科書『造形基礎』の「造形基礎 I 手と身体／ドローイング」を参照。

成績評価の方法

通信授業課題による評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1 年次

[履修条件] なし

[備 考] 必修科目（3 年次編入学生を除く）。

1 年次に履修すること（2 年次編入学生は 2 年次）。3 年次編入学生は必修ではない。

教材等

教科書：『造形基礎』（武蔵野美術大学出版局 2002 年）

学習指導書：『造形基礎 I～IV 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）